

①一里塚付近より本陣跡方面を望む



②八幡橋バス停から本金子屋跡方面を望む



③本陣跡付近から一里塚方面を望む



保土ヶ谷宿 “ほっと” なお話 (その1) 「宿の成立と形成」

保土ヶ谷宿は、1590年代より宿場としての機能を持ち、1601年に徳川家康より下付された「御伝馬之定」と「伝馬朱印状」の発給により、江戸と京都を結ぶ最も重要な東海道53次の

宿のうち、江戸から数えて4番目の宿（成立当初は、川崎宿が成立しておらず、3番目）として成立しました。

成立当初は、元町橋付近に集落を形成していた保土ヶ谷町と帷子川の右岸

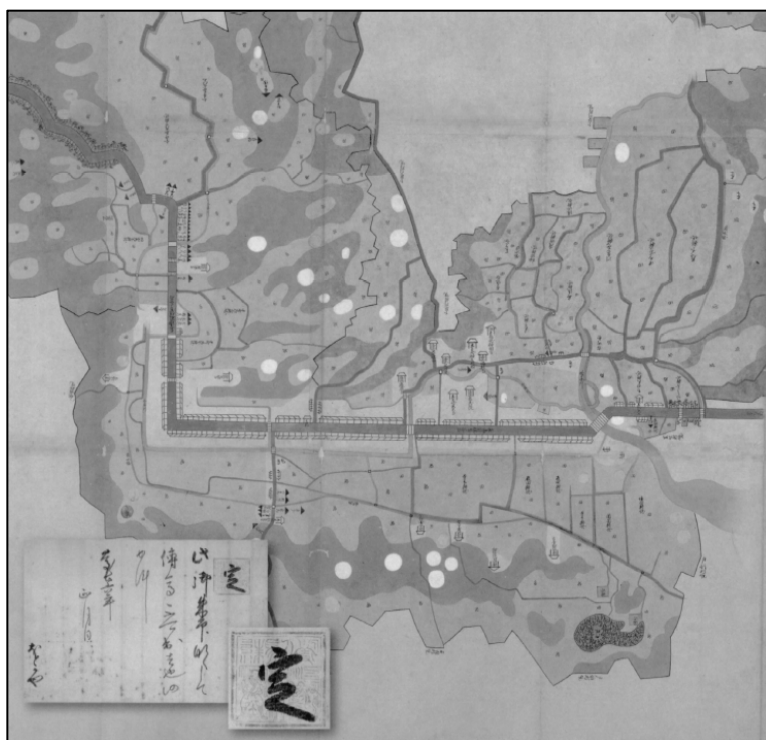
（海に向かって右側）に集落を形成していた神戸町の2カ所に別々の宿場の

ように宿場が形成されていましたが、1600年代半ばに、東海道のル

ート変更と、帷子町・岩間町の編入、及び各町の現在の位置への屋敷の移

転が行われ、現在のL字型の宿場町が形成されました。

今回みちづくりの検討を行う区域は旧東海道と一致する区間で、本陣跡前～復元された一里塚付近までとなります。



「保土ヶ谷宿絵図」と「伝馬朱印状」
 (軽部紘一氏所蔵。出典：横浜市歴史博物館企画展 東海道保土ヶ谷宿)

今後のスケジュール (予定)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度以降
整備方針検討 (住民アンケート調査)	→			
整備計画策定 (市民参加による検討)		→		
道路設計			→	

※上記スケジュールはあくまで予定であり、決定したものではありません。

発行：横浜市道路局建設課 担当：木村、松本、江副

問合せ先：(電話番号) 045-671-3542

編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区区政推進課